

■ 日本語ワープロ検定試験規則 ■

- 第1条 本協会は、学生、生徒ならびに卒業生、その他に対して日本語ワープロ能力を検定する。
- 第2条 検定試験は、初段・1級・準1級・2級・準2級・3級・4級の7種とする。
- 第3条 検定試験は、年4回実施する。
- 第4条 検定試験は、実技試験とする。
- 第5条 検定試験は、「日本語ワープロ検定試験基準」により実施する。
- 第6条 検定試験に合格した者には、合格証書を授与する。  
なお、合格証書の再発行は行わない。(再発行は合格証明書とする)
- 附 則 この試験規則は、平成17年4月1日より施行する。

■ 日本語ワープロ検定施行細則 ■

- 第1条 受験希望者は、所定の受験申込書に必要事項を記入のうえ、受験料を添えて期日までに試験会場校に提出しなければならない。
- 第2条 受験料は、次のように定める。(税込み)  

【一般受験料】			
初段	5,300円	1級	3,300円
準2級	2,600円	3級	2,300円
【特定受験料】			
初段	4,300円	1級	2,700円
準2級	2,100円	3級	1,900円
- 第3条 受験票は、試験会場に持参しなければならない。
- 第4条 試験会場では、試験監督の指示に従わなければならない。
- 附 則 この施行細則は、令和4年4月1日より施行する。

■ 日本語ワープロ検定試験基準 ■

◆ 1級～4級 ◆

◎実技試験

●速 度……正確な入力を判定する(1行40文字とする)

	試験時間	用紙サイズ	1ミスに対して	漢字含有率	文章内容	出題内容	合格文字数
4級	10分	A4判縦	1文字減	23%~26%	一般的 現代文	手書き問題 から入力	200文字以上
3級							300文字以上
準2級							400文字以上
2級							500文字以上
準1級							600文字以上
1級	700文字以上						

●文書作成……正確で体裁の良い文書作成能力を判定する(1行40文字とする)

	試験時間	用紙サイズ	1ミスに対して	出題内容	合格点数
4級	20分	A4判縦	2点減	手書き問題からビジネス文書作成	80点以上
3級				手書き問題からビジネス文書作成 (表を含む)	
準2級				手書き問題からビジネス文書作成 (表を含む)	
2級				手書き問題からビジネス文書作成 (表を含む)	
準1級				手書き問題からビジネス文書作成 (表・地図を含む)	
1級				手書き問題からビジネス文書作成 (表・地図を含む)	

その他 試験時間内には、印刷時間・説明時間を含まない。

◆初段◆

◎実技試験

速度	文書作成 I	文書作成 II
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間……10分</li> <li>・用紙サイズ……A4判縦</li> <li>・1ミスに対して…5文字減</li> <li>・漢字含有率……35%~40%</li> <li>・文章内容……一般的現代文</li> <li>・出題内容……手書き問題から入力</li> <li>・合格文字数……800文字以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間……20分</li> <li>・用紙サイズ……A4判縦</li> <li>・1ミスに対して…2点減</li> <li>・出題内容……手書き問題からビジネス 文書作成(表・地図を含む)</li> <li>・合格点数……80点以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間……20分</li> <li>・用紙サイズ……A4判縦</li> <li>・1ミスに対して…「初段 減点基準(文書作 成II)」に従う</li> <li>・出題内容……文字の処理、グラフの挿入、 表内データの処理(計算、 並べ替え)、図形挿入、段 組みなど</li> <li>・合格点数……80点以上</li> </ul>

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクター、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

## 速度採点基準

- ◆合格基準 10分間で次の文字数以上の入力を合格とする。
- 初 段……………800文字以上
  - 1 級……………700文字以上
  - 準1級……………600文字以上
  - 2 級……………500文字以上
  - 準2級……………400文字以上
  - 3 級……………300文字以上
  - 4 級……………200文字以上

- ◆採点方法 1ミスにつき、次の文字数減とする。
- 初段・1級・準1級……………5文字減
  - 2級・準2級……………3文字減
  - 3級・4級……………1文字減

- ◆書 式 1行40文字とする。

- ◆規 則 次の文例により、規則を示す。

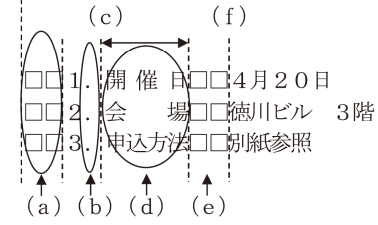
日本は昔から実に環境に優しい暮らしをしていました。土や草、手作りの布や紙に囲まれていたのです。そして、それらは当然のように繰り返し使われてきました。現代は、リサイクルを声高に叫ばれている時代ですが、日本ではもともとごく自然に行われていました。中でも和紙は、暮らしのさまざまな場面で使われており、今もその素材の素晴らしさは高く評価されています。現在、使用した紙の再生率は、世界的にも高い水準に達しています。今後はこの数字をできる限り伸ばす努力が必要だと思います。

	規 則	正しい例	誤った例	ミス
文字の大きさ	文字の大きさは混合しないこと。	環境に優しい	環境に優しい	1
文字のフォント	字体（明朝・ゴシックなど）は混合しないこと。	手作りの布や紙に	手作りの布や紙に	1
打ち始めの位置	段落の1文字目を必ずあけること。	□日本は昔から～暮らしをしていました。	日本は昔から～暮らしをしていました。	1
飛び字	余分なスペースをあげないこと。	～そして、それらは	～そして、_それらは	1
			～そして、____それらは	1
行間隔	一定間隔とし、余分な改行をしないこと。	ました。～略～ しきは高く評価されて	ました。～略～ ↑↓ しきは高く評価されて	1
誤 字	問題と異なった文字が打たれた場合は、問題の1文字について1ミスとする。	使用した紙の	私用した紙の	1
		暮らしのさまざまな	暮らしの様々な	4
		高く評価されて	たかく評価されて	1
脱 字	打ち落とした文字は1文字について1ミスとする。 ※脱行についても同様	今後はこの数字を	今後は数字を (このが脱字)	2
余 分 字	①問題以外の文字を打った場合は、その文字ごとに1ミスとする。 ②同じ文字を再度打った場合は、その文字数分のミスとする。	できる限り伸ばす	できる限りに伸ばす	1
		紙の再生率	紙の再生の再生率	3
転 倒	転倒した文字は、文字数分を減点とする。	必要だと	必要とだ	2
そ の 他	①禁則処理について 正しい禁則処理によって1行が40文字になっていない場合はミスとしない。 ②改行の扱い方……1文字分とする（段落が変わったとき） ③書式設定で1行40文字に設定されている場合、文章が続いているにもかかわらず、1行40文字となっていない行については、その行1行について1ミスとする。また、強制改行の指示がないのに改行をしている場合も、その箇所ごとに1ミスとする。 ④書式設定で1行40文字に設定されていない場合は、1ミスとする。 ⑤長音記号「ー」とハイフン「-」の混合は許容範囲として減点はしない。 ⑥速度および文書作成の「文章」において、読点「、」とカンマ「,」はどちらか一方に統一してあれば許容範囲とする。混合している場合は全体で1ミスとする。 ⑦速度および文書作成の「文章」において、全角文字・半角文字・全角スペース・半角スペースの混合は全体で1ミスとする。			



減点基準	詳細および採点例	減点																																																
日付と受信者名、受信者名と発信者名の改行幅について	<p>①本文よりも改行幅を広くとること。ただし、同じ改行幅にすること。</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;">中央</td> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td colspan="3">令和7年4月8日</td> </tr> <tr> <td colspan="3">●</td> </tr> <tr> <td colspan="3">□日検センター 日検 太郎 様</td> </tr> <tr> <td colspan="3">●</td> </tr> <tr> <td colspan="3">徳川クラブ 徳川 和夫□□</td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;">中央</td> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td colspan="3">令和7年4月8日</td> </tr> <tr> <td colspan="3">□日検センター 日検 太郎 様</td> </tr> <tr> <td colspan="3">徳川クラブ 徳川 和夫□□</td> </tr> </table> <p>◎構成要素間の改行幅が本文と同じである</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;">中央</td> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td colspan="3">令和7年4月8日</td> </tr> <tr> <td colspan="3">●</td> </tr> <tr> <td colspan="3">□日検センター 日検 太郎 様</td> </tr> <tr> <td colspan="3">●</td> </tr> <tr> <td colspan="3">徳川クラブ 徳川 和夫□□</td> </tr> </table> <p>◎構成要素間の改行幅が同じでない</p>	行頭	中央	行末	令和7年4月8日			●			□日検センター 日検 太郎 様			●			徳川クラブ 徳川 和夫□□			行頭	中央	行末	令和7年4月8日			□日検センター 日検 太郎 様			徳川クラブ 徳川 和夫□□			行頭	中央	行末	令和7年4月8日			●			□日検センター 日検 太郎 様			●			徳川クラブ 徳川 和夫□□			<p>4</p> <p>2</p>
行頭	中央	行末																																																
令和7年4月8日																																																		
●																																																		
□日検センター 日検 太郎 様																																																		
●																																																		
徳川クラブ 徳川 和夫□□																																																		
行頭	中央	行末																																																
令和7年4月8日																																																		
□日検センター 日検 太郎 様																																																		
徳川クラブ 徳川 和夫□□																																																		
行頭	中央	行末																																																
令和7年4月8日																																																		
●																																																		
□日検センター 日検 太郎 様																																																		
●																																																		
徳川クラブ 徳川 和夫□□																																																		
件名	<p>①件名は中央にあること。</p> <p>②文字の大きさは問わない。(ただし、半角文字は使用しない)</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">中央</td> </tr> <tr> <td>説明会のご案内</td> </tr> <tr> <td>説明会のご案内</td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">中央</td> </tr> <tr> <td>説明会のご案内</td> </tr> <tr> <td>説明会のご案内</td> </tr> </table>	中央	説明会のご案内	説明会のご案内	中央	説明会のご案内	説明会のご案内	<p>2</p> <p>2</p>																																										
中央																																																		
説明会のご案内																																																		
説明会のご案内																																																		
中央																																																		
説明会のご案内																																																		
説明会のご案内																																																		
頭語	<p>①頭語(拝啓・前略など)は行頭から打ち、頭語のあとには1文字あけること。</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>拝啓□陽春の候、～</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>○ 拝啓□陽春の候、～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>□ 拝啓陽春の候、～</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 拝啓陽春の候、～</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	行頭			拝啓□陽春の候、～			行頭			○ 拝啓□陽春の候、～			↓			□ 拝啓陽春の候、～			↓			○ 拝啓陽春の候、～			<p>2</p> <p>2</p> <p>4</p>																								
行頭																																																		
拝啓□陽春の候、～																																																		
行頭																																																		
○ 拝啓□陽春の候、～																																																		
↓																																																		
□ 拝啓陽春の候、～																																																		
↓																																																		
○ 拝啓陽春の候、～																																																		
起辞	<p>①起辞(さて・つきましては など)は、行頭から1文字あけること。</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>□さて、このたび～</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">行頭</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>さて、このたび～</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	行頭			□さて、このたび～			行頭			さて、このたび～			<p>2</p>																																				
行頭																																																		
□さて、このたび～																																																		
行頭																																																		
さて、このたび～																																																		
結語	<p>①結語(敬具・草々など)は次の行に位置させること。</p> <p>②文末が中央を越えない場合は、結語は同一行でもかまわない。</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">中央</td> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td>…添付してご送付ください。</td> <td>敬□具□</td> </tr> <tr> <td>…申し上げます。</td> <td>敬□具□</td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">中央</td> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td>…添付してご送付ください。</td> <td>敬□具□</td> </tr> </table>	中央	行末	…添付してご送付ください。	敬□具□	…申し上げます。	敬□具□	中央	行末	…添付してご送付ください。	敬□具□	<p>2</p>																																						
中央	行末																																																	
…添付してご送付ください。	敬□具□																																																	
…申し上げます。	敬□具□																																																	
中央	行末																																																	
…添付してご送付ください。	敬□具□																																																	
結語(敬具・以上)	<p>①結語の位置は行末より1～2文字あけること。</p> <p>②「敬」と「具」の間、「以」と「上」の間は0～2文字あけること。</p> <p>③「敬具」と「以上」の縦位置の関係は同じにすること。</p> <p>④「敬具」と「以上」の上は行をあげない。</p> <p>【正】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td>敬□具□</td> </tr> <tr> <td>以□上□</td> </tr> <tr> <td>敬□□具□□</td> </tr> <tr> <td>以□□上□□</td> </tr> <tr> <td>敬□具□</td> </tr> <tr> <td>以上□</td> </tr> </table> <p>【誤】</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">行末</td> </tr> <tr> <td>敬□具□□□</td> </tr> <tr> <td>以□上□□□</td> </tr> </table> <p>◎後ろが3文字以上のスペース</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">敬□具□</td> </tr> <tr> <td>以□上□</td> </tr> </table> <p>◎後ろがあいていない</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">敬□具□</td> </tr> <tr> <td>以□上□□</td> </tr> </table> <p>◎結語の縦位置がそろっていない</p>	行末	敬□具□	以□上□	敬□□具□□	以□□上□□	敬□具□	以上□	行末	敬□具□□□	以□上□□□	敬□具□	以□上□	敬□具□	以□上□□	<p>4</p> <p>4</p> <p>2</p>																																		
行末																																																		
敬□具□																																																		
以□上□																																																		
敬□□具□□																																																		
以□□上□□																																																		
敬□具□																																																		
以上□																																																		
行末																																																		
敬□具□□□																																																		
以□上□□□																																																		
敬□具□																																																		
以□上□																																																		
敬□具□																																																		
以□上□□																																																		



減点基準	詳細および採点例	減点
別記事項	<p>①「記」は中央に位置すること。(文字の大きさは問わない)</p> <p>②別記事項の項目番号の前は、行頭より1～4文字あけること。</p> <p>③項目は、一番多い文字数に合わせて均等にすること。</p> <p>④項目と内容の間は、1～3文字あけること。</p> <p>◎項目の「」は問題どおりでない場合は、全体で1ミスとする。</p> <p>⑤それぞれブロック内での入れ替えは、ブロックごとに1ミスとする。</p> <p>例</p> <p>行頭</p>  <p>(a) 1～4文字分のスペースはあるか                  (b) ピリオドで統一されているか                  (c) 各項目の先頭文字がそろっているか                  (d) 各項目が均等割り付けされているか                  (e) 1～3文字分のスペースはあるか                  (f) 各項目の内容の先頭文字がそろっているか</p> <p>【正】</p> <p>行頭</p> <p>□□1. 開催日□□4月20日                  □□2. 会場□□徳川ビル 3階                  □□3. 申込方法□□別紙参照</p> <p>【誤】</p> <p>行頭</p> <p>1. 開催日                  2. 会場                  3. 申込方法</p> <p>◎番号の前にスペースがない                  (複数ミスがあっても1ブロックとして採点する)</p> <p>□□□□1. 開催日                  □□□□2. 会場                  □□□□3. 申込方法</p> <p>◎番号の前のスペースがあきすぎ</p> <p>□□1. 開催日                  □□2. 会場                  □□3. 申込方法</p> <p>◎均等割り付けされていない項目が複数あっても1ブロックで採点する</p> <p>□□1、開催日□□4月20日                  □□2、会場□□徳川ビル 3階                  □□3、申込方法□□別紙参照</p> <p>◎ピリオドがすべて読点になっている                  (コンマ「,」、中点「・」の使用も不可)</p> <p>□□1. 開催日□□4月20日                  □□2. 会場□□別紙参照                  □□3. 申込方法□□徳川ビル 3階</p> <p>◎項目の内容が入れ替わっている</p> <p>□□1. 会場□□4月20日                  □□2. 開催日□□別紙参照                  □□3. 申込方法□□徳川ビル 3階</p> <p>◎項目が入れ替わっている                  ◎項目の内容が入れ替わっている</p>	<p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p>



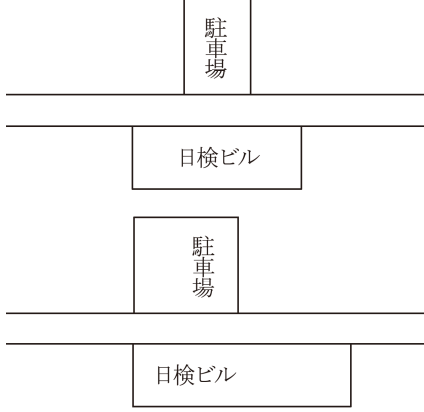
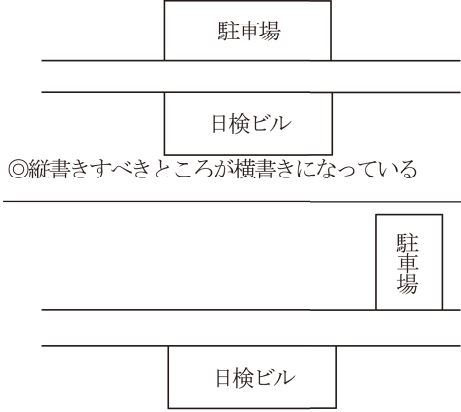

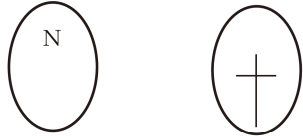


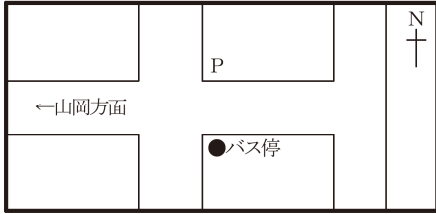
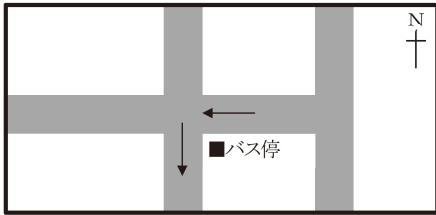
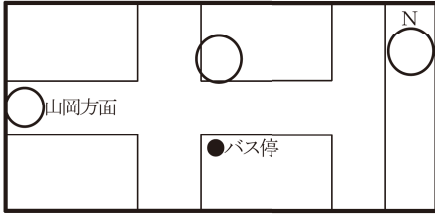
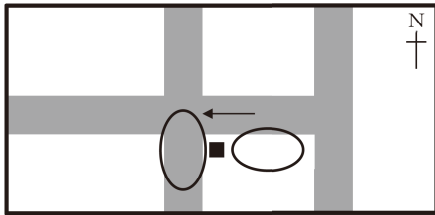
減点基準	詳細および採点例	減点																																																														
<p>表</p> <p>◎表作成において線に関するミスは、最大5ミス(10点減)までとする</p>	<p>①線の不足および余分な線は1本ごとのミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="437 338 788 439"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="879 338 1230 439"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎表内の線(縦2本、横2本)が不足</p> <p>①線種のミスは全体で1ミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="437 573 788 674"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="879 573 1230 674"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎横2本の線種が違う</p> <p>①表の位置(表は行頭、行末を越えないこと)</p> <p><b>【正】</b></p> <p>行頭 拝啓 ~ 敬具 行末</p> <p>記</p> <p>1. 日時 ~</p> <p>2. 場所 ~</p> <table border="1" data-bbox="536 954 759 1032"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><b>【誤】</b></p> <p>行頭 行末</p> <table border="1" data-bbox="911 819 1158 898"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎表の左が行頭を越えている</p> <p>行頭 行末</p> <table border="1" data-bbox="1102 999 1350 1077"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎表の右が行末を越えている</p> <p>行頭 行末</p> <table border="1" data-bbox="911 1144 1350 1223"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◎表の左右が行頭、行末を越えている</p>																																																															<p>8</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
<p>表内の数字</p>	<p>①表内の英数字の全半角は、見出しごとにそろえること。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="421 1323 791 1458"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入金伝票</td> <td>6冊</td> <td>960円</td> </tr> <tr> <td>金銭出納帳</td> <td>2冊</td> <td>1,250円</td> </tr> <tr> <td>領収書</td> <td>10冊</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="911 1323 1350 1458"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入金伝票</td> <td>6冊</td> <td>960円</td> </tr> <tr> <td>金銭出納帳</td> <td>2冊</td> <td>1,250円</td> </tr> <tr> <td>領収書</td> <td>10冊</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>半角でそろっているのでミスとしない</p>	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	<p>2</p>																																						
品名	冊数	金額																																																														
入金伝票	6冊	960円																																																														
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																														
領収書	10冊	3,000円																																																														
品名	冊数	金額																																																														
入金伝票	6冊	960円																																																														
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																														
領収書	10冊	3,000円																																																														
	<p>①表内の数字は、1字ごとに1ミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="421 1559 847 1693"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>日にち</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文明発祥</td> <td>1日~3日</td> <td>11:00~12:00</td> </tr> <tr> <td>高い表現力</td> <td>4日~6日</td> <td>13:00~14:00</td> </tr> <tr> <td>美術的価値</td> <td>7日~9日</td> <td>14:20~15:20</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="911 1559 1350 1693"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>日にち</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文明発祥</td> <td>1日~3日</td> <td>11:00~12:00</td> </tr> <tr> <td>高い表現力</td> <td>①日~③日</td> <td>13:00~14:00</td> </tr> <tr> <td>美術的価値</td> <td>7日~9日</td> <td>14:20~①2:②00</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎コンマを含めた数字部分5文字、単位(円)1文字の未入力</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="421 1760 847 1895"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>講座名</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月~6月</td> <td>暮らしの筆文字</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>6月~7月</td> <td>大正琴</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>7月~8月</td> <td>ちりめん細工</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="911 1760 1350 1895"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>講座名</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月~6月</td> <td>暮らしの筆文字</td> <td>2,000円</td> </tr> <tr> <td>6月~7月</td> <td>大正琴</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>7月~8月</td> <td>ちりめん細工</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	内容	日にち	時間	文明発祥	1日~3日	11:00~12:00	高い表現力	4日~6日	13:00~14:00	美術的価値	7日~9日	14:20~15:20	内容	日にち	時間	文明発祥	1日~3日	11:00~12:00	高い表現力	①日~③日	13:00~14:00	美術的価値	7日~9日	14:20~①2:②00	期間	講座名	料金	5月~6月	暮らしの筆文字	2,000円	6月~7月	大正琴	2,500円	7月~8月	ちりめん細工	3,000円	期間	講座名	料金	5月~6月	暮らしの筆文字	2,000円	6月~7月	大正琴	2,500円	7月~8月	ちりめん細工		<p>8</p> <p>12</p>														
内容	日にち	時間																																																														
文明発祥	1日~3日	11:00~12:00																																																														
高い表現力	4日~6日	13:00~14:00																																																														
美術的価値	7日~9日	14:20~15:20																																																														
内容	日にち	時間																																																														
文明発祥	1日~3日	11:00~12:00																																																														
高い表現力	①日~③日	13:00~14:00																																																														
美術的価値	7日~9日	14:20~①2:②00																																																														
期間	講座名	料金																																																														
5月~6月	暮らしの筆文字	2,000円																																																														
6月~7月	大正琴	2,500円																																																														
7月~8月	ちりめん細工	3,000円																																																														
期間	講座名	料金																																																														
5月~6月	暮らしの筆文字	2,000円																																																														
6月~7月	大正琴	2,500円																																																														
7月~8月	ちりめん細工																																																															

減点基準	詳細および採点例	減点																																													
<p>表内の文字位置 (I)</p>	<p>①表内の見出しは、中央揃え（左右を同じあき）とする。                  ②表内の見出しを除く文字は、左をそろえる。                  ③表内の数字はケタをそろえる。または、定位点でそろえる。</p> <p><b>【正】</b>                  ◎見出しは中央にそろえる</p> <table border="1" data-bbox="419 421 791 560"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入金伝票</td> <td>6冊</td> <td>960円</td> </tr> <tr> <td>金銭出納帳</td> <td>2冊</td> <td>1,250円</td> </tr> <tr> <td>領収書</td> <td>10冊</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b>                  ◎表内のミスは縦または横ブロックごとに採点をする</p> <table border="1" data-bbox="863 421 1283 560"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入金伝票</td> <td>6冊</td> <td>960円</td> </tr> <tr> <td>金銭出納帳</td> <td>2冊</td> <td>1,250円</td> </tr> <tr> <td>領収書</td> <td>10冊</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎上の見出しが2か所中央にない                  （2か所以上でも横のブロックで1ミス）</p> <table border="1" data-bbox="887 651 1262 790"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入金伝票</td> <td>6冊</td> <td>960円</td> </tr> <tr> <td>金銭出納帳</td> <td>2冊</td> <td>1,250円</td> </tr> <tr> <td>領収書</td> <td>10冊</td> <td>3,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎文字の左がそろっていない                  ◎数字の桁がそろっていない</p>	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	<p>2</p> <p>4</p>									
品名	冊数	金額																																													
入金伝票	6冊	960円																																													
金銭出納帳	2冊	1,250円																																													
領収書	10冊	3,000円																																													
品名	冊数	金額																																													
入金伝票	6冊	960円																																													
金銭出納帳	2冊	1,250円																																													
領収書	10冊	3,000円																																													
品名	冊数	金額																																													
入金伝票	6冊	960円																																													
金銭出納帳	2冊	1,250円																																													
領収書	10冊	3,000円																																													
<p>表内の文字位置 (II)</p>	<p>①セル内の上下の文字位置は、中央にあること。                  表内の上下の文字位置は、全体で1ミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="488 976 756 1111"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1号館</td> <td>生物室</td> <td rowspan="2">3階</td> </tr> <tr> <td>化学室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2号館</td> <td>音楽室</td> <td rowspan="2">4階</td> </tr> <tr> <td>情報処理室</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="959 976 1243 1111"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1号館</td> <td>生物室</td> <td rowspan="2">3階</td> </tr> <tr> <td>化学室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2号館</td> <td>音楽室</td> <td>4階</td> </tr> <tr> <td>情報処理室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="959 1167 1243 1305"> <tbody> <tr> <td>1号館</td> <td>生物室</td> <td rowspan="2">3階</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化学室</td> </tr> <tr> <td>2号館</td> <td>音楽室</td> <td rowspan="2">4階</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報処理室</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="419 1368 831 1503"> <thead> <tr> <th>写真家</th> <th>テーマ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴木 一樹</td> <td>平和と子供たち</td> <td>平和を願う子供たちの姿です。</td> </tr> <tr> <td>人島 まり</td> <td>心豊かな暮らし</td> <td>本当の豊かさとは何でしょう。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="887 1368 1299 1503"> <thead> <tr> <th>写真家</th> <th>テーマ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴木 一樹</td> <td>平和と子供たち</td> <td>平和を願う子供たちの姿です。</td> </tr> <tr> <td>大島 まり</td> <td>心豊かな暮らし</td> <td>本当の豊かさとは何でしょう。</td> </tr> </tbody> </table>	1号館	生物室	3階	化学室	2号館	音楽室	4階	情報処理室	1号館	生物室	3階	化学室	2号館	音楽室	4階	情報処理室		1号館	生物室	3階		化学室	2号館	音楽室	4階		情報処理室	写真家	テーマ	備考	鈴木 一樹	平和と子供たち	平和を願う子供たちの姿です。	人島 まり	心豊かな暮らし	本当の豊かさとは何でしょう。	写真家	テーマ	備考	鈴木 一樹	平和と子供たち	平和を願う子供たちの姿です。	大島 まり	心豊かな暮らし	本当の豊かさとは何でしょう。	<p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>
1号館	生物室		3階																																												
	化学室																																														
2号館	音楽室	4階																																													
	情報処理室																																														
1号館	生物室	3階																																													
	化学室																																														
2号館	音楽室	4階																																													
	情報処理室																																														
1号館	生物室	3階																																													
	化学室																																														
2号館	音楽室	4階																																													
	情報処理室																																														
写真家	テーマ	備考																																													
鈴木 一樹	平和と子供たち	平和を願う子供たちの姿です。																																													
人島 まり	心豊かな暮らし	本当の豊かさとは何でしょう。																																													
写真家	テーマ	備考																																													
鈴木 一樹	平和と子供たち	平和を願う子供たちの姿です。																																													
大島 まり	心豊かな暮らし	本当の豊かさとは何でしょう。																																													
<p>表下の※の文章の位置</p>	<p>①※のついた文章は、表の左右を越えないこと。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="419 1615 842 1749"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>日にち</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文明発祥</td> <td>1日～3日</td> <td>11:00～12:00</td> </tr> <tr> <td>高い表現力</td> <td>4日～6日</td> <td>13:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>美術的価値</td> <td>7日～9日</td> <td>14:20～15:20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定員になりましたら締め切ります。</p> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="887 1615 1310 1749"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>日にち</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文明発祥</td> <td>1日～3日</td> <td>11:00～12:00</td> </tr> <tr> <td>高い表現力</td> <td>4日～6日</td> <td>13:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>美術的価値</td> <td>7日～9日</td> <td>14:20～15:20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定員になりましたら締め切ります。</p>	内容	日にち	時間	文明発祥	1日～3日	11:00～12:00	高い表現力	4日～6日	13:00～14:00	美術的価値	7日～9日	14:20～15:20	内容	日にち	時間	文明発祥	1日～3日	11:00～12:00	高い表現力	4日～6日	13:00～14:00	美術的価値	7日～9日	14:20～15:20	<p>2</p>																					
内容	日にち	時間																																													
文明発祥	1日～3日	11:00～12:00																																													
高い表現力	4日～6日	13:00～14:00																																													
美術的価値	7日～9日	14:20～15:20																																													
内容	日にち	時間																																													
文明発祥	1日～3日	11:00～12:00																																													
高い表現力	4日～6日	13:00～14:00																																													
美術的価値	7日～9日	14:20～15:20																																													

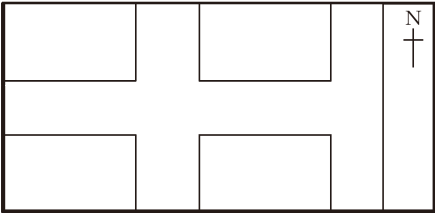
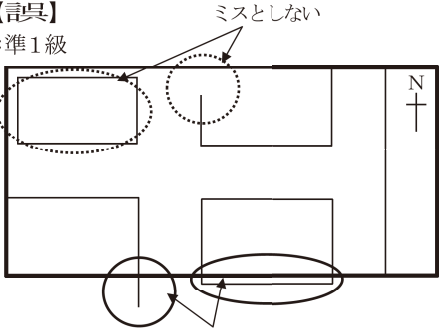
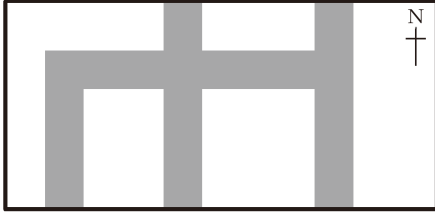
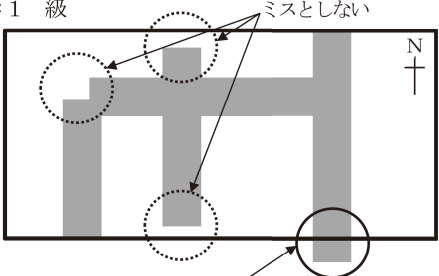
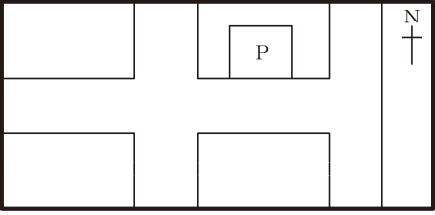
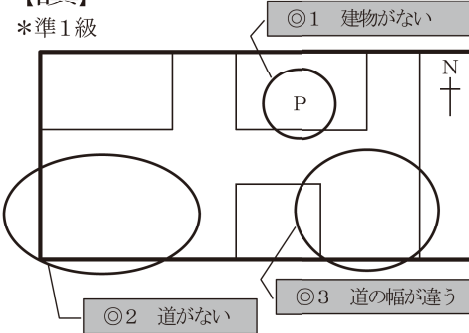
減点基準	詳細および採点例	減点																																																												
表内の縦書き	<p>①セル内の縦書きは、垂直方向で文字位置をそろえる。 ②縦書きにしているセルごとにミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="480 331 761 537"> <tr><td>生物室</td><td rowspan="2">三階</td></tr> <tr><td>化学室</td></tr> <tr><td>音楽室</td><td rowspan="2">四階</td></tr> <tr><td>情報処理室</td></tr> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="954 331 1235 537"> <tr><td>生物室</td><td rowspan="2">三階</td></tr> <tr><td>化学室</td></tr> <tr><td>音楽室</td><td rowspan="2">四階</td></tr> <tr><td>情報処理室</td></tr> </table>	生物室	三階	化学室	音楽室	四階	情報処理室	生物室	三階	化学室	音楽室	四階	情報処理室	4																																																
生物室	三階																																																													
化学室																																																														
音楽室	四階																																																													
情報処理室																																																														
生物室	三階																																																													
化学室																																																														
音楽室	四階																																																													
情報処理室																																																														
行の高さ	<p>①行の高さをそろえる。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="416 645 842 777"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="884 645 1337 801"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>◎行の高さが不ぞろい(全体で1ミス)</p>	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	2																																				
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
セルの網かけ	<p>①セルの網かけは、文字の網かけを代用しない。 ②セルの網かけは、全体で1ミスとする。 ③網かけにより線が判別できなかった場合は、その線の本数分のミスとする。</p> <p><b>【正】</b></p> <table border="1" data-bbox="416 972 842 1104"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【誤】</b></p> <table border="1" data-bbox="884 972 1337 1104"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>◎文字の網かけを代用している</p> <table border="1" data-bbox="884 1171 1337 1303"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>◎指定セルまで網かけ処理がなされていない</p> <table border="1" data-bbox="884 1370 1337 1503"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>◎網かけ処理が指定場所でない</p> <table border="1" data-bbox="884 1570 1337 1702"> <thead> <tr><th>品名</th><th>冊数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>入金伝票</td><td>6冊</td><td>960円</td></tr> <tr><td>金銭出納帳</td><td>2冊</td><td>1,250円</td></tr> <tr><td>領収書</td><td>10冊</td><td>3,000円</td></tr> </tbody> </table> <p>◎網かけにより文字が判別できない(6文字) ◎網かけにより線が判別できない(2カ所)</p>	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	品名	冊数	金額	入金伝票	6冊	960円	金銭出納帳	2冊	1,250円	領収書	10冊	3,000円	2 2 2 16
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												
品名	冊数	金額																																																												
入金伝票	6冊	960円																																																												
金銭出納帳	2冊	1,250円																																																												
領収書	10冊	3,000円																																																												

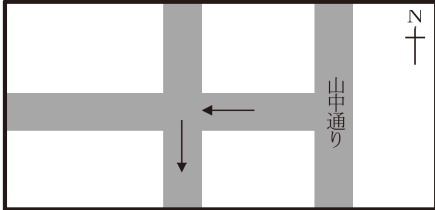
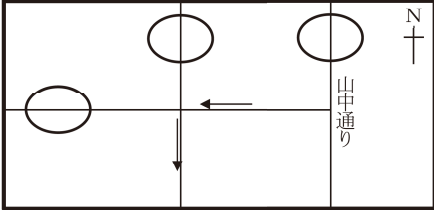
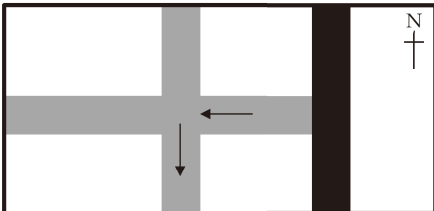
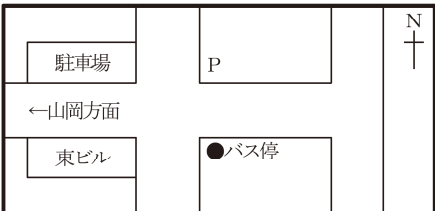
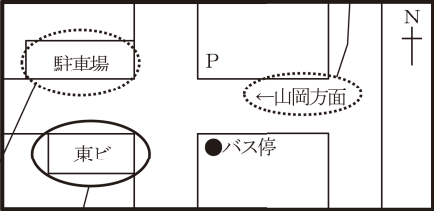
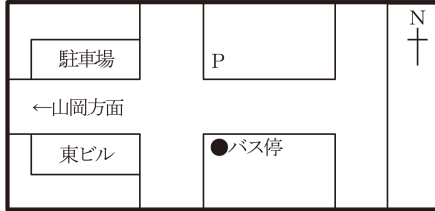
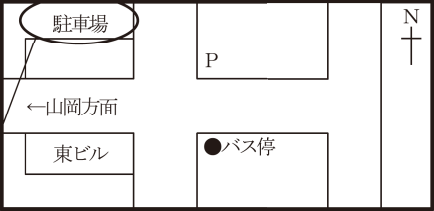
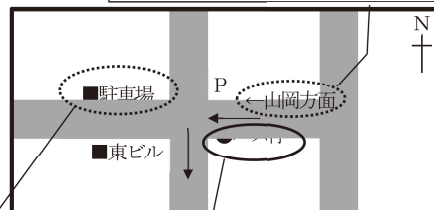




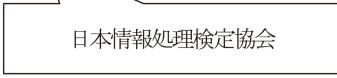
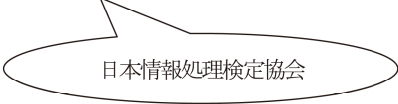

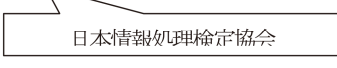
減点基準	詳細および採点例	減点
<p>地図 文字・建物などの配置</p>	<p>①地図全体は行頭、行末を超えないこと。 ②地図内の枠の中の文字は、どのように配置してあってもよい。 ③縦書き・横書きは変えないこと。 ④建物の大きさは許容とする。</p> <p>【正】</p>  <p>◎建物の大きさ、枠内の文字位置は許容とする</p> <p>【誤】</p>  <p>◎縦書きすべきところが横書きになっている ◎日検ビルの正面にあるべき建物が正面にない (日検ビルに少しでもかかっていると許容とする)</p>	<p>2  2</p>
<p>地図 方位記号</p>	<p>①方位記号は1か所のミスで採点する。</p> <p>【正】</p>  <p>◎方位記号は「+」でも許容とする</p> <p>【誤】</p>  <p>◎不完全な方位記号</p>	<p>各2</p>
<p>地図 矢印</p>	<p>①矢印は1か所ごとのミスで採点する。</p> <p>【正】</p>  <p>◎矢印は「→」でも許容とする</p> <p>【誤】</p>  <p>◎線の先に矢印がない</p>	<p>2</p>
<p>地図 地図内の文字・記号</p>	<p>①地図内の記号は、1か所ごとのミスで採点する。 (文字の入力は速度採点基準に準ずる)</p> <p>【正】</p> <p>*準1級</p>  <p>*1級</p>  <p>【誤】</p> <p>*準1級</p>  <p>◎2か所の記号と1文字の未入力</p> <p>*1級</p>  <p>◎1か所の矢印と3文字の未入力</p>	<p>6  8</p>



減点基準	詳細および採点例	減点
<p>地図 線の長さ ◎地図の作成において線のミスは最大で10ミス(20点減)までとする</p>	<p>①線の長さは外枠よりはみ出した場合は、全体で1ミスとする。 ②外枠より短い場合は、ミスとしない。</p> <p><b>【正】</b> *準1級</p>  <p><b>【誤】</b> *準1級</p>  <p>*1級</p>  <p><b>【誤】</b> *1級</p>  <p>外枠よりはみ出した場合は、全体で1ミスとする</p>	<p>2</p> <p>2</p>
<p>地図 道と建物</p>	<p>①準1級の地図はどのような作成方法であっても、四角形など図形の集合とみなし、それぞれの図形ごとに1ミスとする。</p> <p><b>【正】</b> *準1級</p>  <p><b>【誤】</b> *準1級</p>  <p>◎1 建物がない…1ミス (四角形がない) ◎2 道がない…1ミス (四角形がない) ◎3 幅が違う…1ミス (四角形の大きさが違う)</p>	<p>6</p>

減点基準	詳細および採点例	減点
<p>地図 道の幅員</p>	<p>①線の太さは問わないが、太さの変更が認められない場合は、その線の本数だけミスとする。 ②線の色は問わないが、線上の文字が判読できない場合は、その文字数分のミスとする。</p> <p>【正】 *1級</p>  <p>【誤】 *1級</p>  <p>◎3か所の道が加工されていない</p>  <p>◎文字が判読できない。(4文字)</p>	<p>6</p> <p>8</p>
<p>地図 文字のずれおよび判読</p>	<p>①道路などの文字入力において文字ずれまたは、文字が判読できない場合は、以下のとおりとする。</p> <p>【正】 *準1級</p>  <p>【誤】 *準1級</p> <p>◎指定道路上であれば位置は問わない</p>  <p>◎1文字判読できない</p> <p>◎文字が隠れているが、判読できる場合はミスとしない 判読できない場合は文字数分のミスとする</p> <p>【正】 *準1級</p>  <p>【誤】 *準1級</p> <p>◎指定された建物より外れた場合は1ミスとする</p>  <p>◎指定道路上であれば位置は問わない</p>  <p>◎4文字判読できない</p> <p>◎文字が隠れているが、判読できる場合はミスとしない 判読できない場合は文字数分のミスとする</p>	<p>2</p> <p>2</p> <p>8</p>



減点基準	詳細および採点例	減点
ルビ	①ルビは指定された文字間にふる。 ②ルビのフォント・サイズは問わない。(MS明朝、サイズ5を推奨) ③ルビは全体で1ミスとする。ただし、文字が入力されていない場合はルビの減点はしない。 【正】 きぎんか 山茶花通り	【誤】 やまぢゃか 山茶花通り 2
	きぎんかどお 山茶花通り 2	
	きぎんか 山茶花通り 2	
地図内の吹き出し	①吹き出しの種類は問わない。 ②吹き出し内の文字は判読できれば減点としない。 【正】  日本情報処理検定協会	【誤】 日本情報処理検定協会 ◎図形がない場合は1ミス 2
	 日本情報処理検定協会 ◎種類は問わない	 ◎図形内に文字がない場合は文字数分のミス 20
	 日本情報処理検定協会 ◎図形内の文字は判読できる場合はミスなし 判読できない場合は文字数分のミスとする	



### 初段 出題内容 (文書作成Ⅱ)

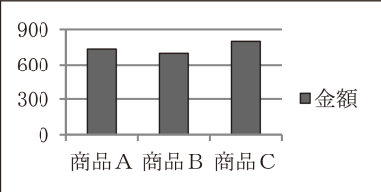
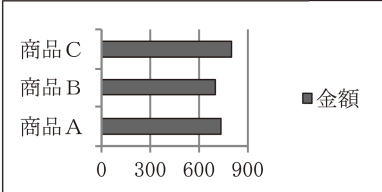
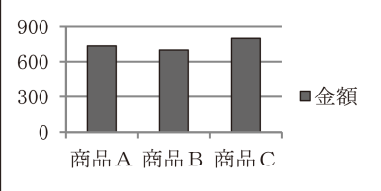
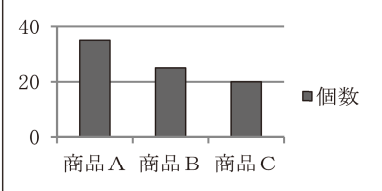
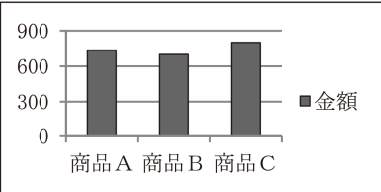
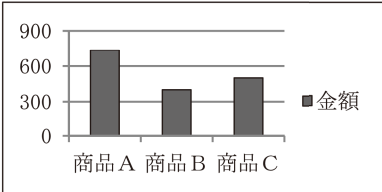
○文字の大きさの変更 (ポイントの変更)	○グラフの挿入
○文字のフォントの変更 (明朝、ゴシックなど)	○計算 (合計、平均、構成比率など)
○文字書体 (太字、斜体、傍点、影付きなど)	○図形挿入 (四角形、吹き出しなど)
○表内データの処理 (計算・並べ替え)	○段組み

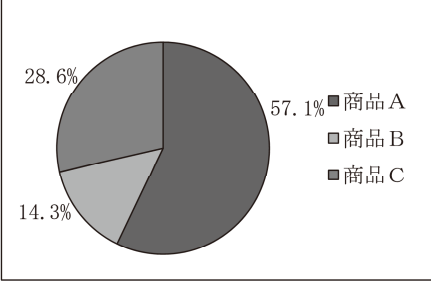
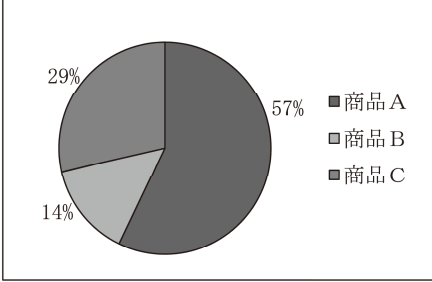



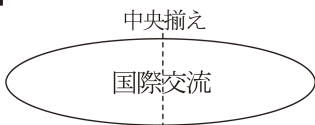
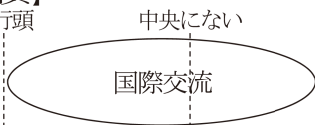




### 初段 減点基準 (文書作成Ⅱ)

減点基準	採点 (減点) 内容	減点
1. 文字・記号の入力	1ミスにつき2点減とする。(採点方法は速度採点基準に準ずる)	
2. 文字の処理	文字の大きさ (ポイントの変更)	各2点
	文字のフォント (明朝、ゴシックなど)	
	文字書体 (太字、斜体、影付きなど)	
	下線 (一重、二重、点線、波線など)	
	文字の配置 (左揃え、中央揃え、右揃え)	
3. 表 ※文字の大きさ、書体の種類は問わない。なお、数値は半角文字とする。 ※右記以外は「文書作成採点基準」に従う。	並べ替えの未処理、間違い	5点
	計算未処理、間違い (1か所ごとに)	2点
	表の線種の間違い (全体で)	2点
4. グラフ ※グラフの減点はグラフごとに減点する。ただし、減点は1答案で20点までとする。 ※文字の大きさ、書体の種類は問わない。なお、数値は半角文字とする。 ※グラフタイトル・数値軸単位は別に採点する。(速度採点基準に従う。)	挿入なし	20点
	凡例なし	5点
	グラフの種類の間違い	5点
	データ範囲の間違い	5点
	データの間違い (データ基は合っている)	5点
	%表示が問題文どおりでない場合	2点
	表 (データ基) の値が間違っている場合	減点なし
	目盛線の間隔が問題文と違っている場合	減点なし
グラフタイトルがグラフの中央にない場合	減点なし	
5. 図形 ※図形内の文字は別に採点する。(速度採点基準に従う)	挿入なし	10点
	図形の種類の間違い	2点
	図形の配置の間違い	2点
	図形の加工の間違い	2点
	図形内の文字の縦書き、横書きの間違い	2点
	図形が行頭・行末を超えている場合	減点なし
6. 段組み	処理なし	10点
	段組み数の間違い	5点
7. その他	余分処理について (1か所ごと)	2点
	表とグラフの位置関係が問題文どおりの配置ではない場合	2点

### 初段 採点詳細 (文書作成Ⅱ)

減点基準	詳細 および 採点例	減点	
文字・記号の入力	誤字、脱字、余分字、打ち切れない、スペースの有無など (採点方法は速度採点基準に準ずる)		
文字の処理	文字の大きさ (ポイントの変更) 【正】 報告書 (14ポイント)	【誤】 報告書 (10.5ポイント)	2
	文字のフォント (明朝、ゴシックなど) 【正】 報告書 (ゴシック)	【誤】 報告書 (明朝)	2
	文字書体 (太字、斜体、影付きなど) 【正】 報告書 (太字、斜体)	【誤】 報告書 (未処理)	4
	下線 (一重、二重、点線、波線など) 【正】 報告書 (一重下線)	【誤】 報告書 (未処理)	2
	文字の配置 (左揃え、中央揃え、右揃え) 【正】 報告書 (中央揃え)	【誤】 報告書 (未処理)	2

減点基準	詳細および採点例	減点																																	
表	並べ替えの未処理、間違い 【正】 金額の降順に並べ替え <table border="1" data-bbox="375 324 678 459"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品C	40	20	800	商品A	21	35	735	商品B	28	25	700	【誤】 未処理（基表のまま） <table border="1" data-bbox="869 324 1173 459"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品A	21	35	735	商品B	28	25	700	商品C	40	20	800	5
	商品名	単価	個数	金額																															
	商品C	40	20	800																															
	商品A	21	35	735																															
商品B	28	25	700																																
商品名	単価	個数	金額																																
商品A	21	35	735																																
商品B	28	25	700																																
商品C	40	20	800																																
	間違い（金額の昇順） <table border="1" data-bbox="869 515 1173 649"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品B	28	25	700	商品A	21	35	735	商品C	40	20	800	5																	
商品名	単価	個数	金額																																
商品B	28	25	700																																
商品A	21	35	735																																
商品C	40	20	800																																
計算未処理、間違い（1か所ごとに） 【正】 金額＝単価×個数 <table border="1" data-bbox="375 750 678 884"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品A	21	35	735	商品B	28	25	700	商品C	40	20	800	【誤】 計算未処理、間違い <table border="1" data-bbox="869 750 1173 884"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>53</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品A	21	35	735	商品B	28	25	53	商品C	40	20	800	4	
商品名	単価	個数	金額																																
商品A	21	35	735																																
商品B	28	25	700																																
商品C	40	20	800																																
商品名	単価	個数	金額																																
商品A	21	35	735																																
商品B	28	25	53																																
商品C	40	20	800																																
表の線種の間違い（全体で） 【正】 外枠太線 <table border="1" data-bbox="375 985 678 1120"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品A	21	35	735	商品B	28	25	700	商品C	40	20	800	【誤】 外枠細線 <table border="1" data-bbox="869 985 1173 1120"> <thead> <tr><th>商品名</th><th>単価</th><th>個数</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>商品A</td><td>21</td><td>35</td><td>735</td></tr> <tr><td>商品B</td><td>28</td><td>25</td><td>700</td></tr> <tr><td>商品C</td><td>40</td><td>20</td><td>800</td></tr> </tbody> </table>	商品名	単価	個数	金額	商品A	21	35	735	商品B	28	25	700	商品C	40	20	800	2	
商品名	単価	個数	金額																																
商品A	21	35	735																																
商品B	28	25	700																																
商品C	40	20	800																																
商品名	単価	個数	金額																																
商品A	21	35	735																																
商品B	28	25	700																																
商品C	40	20	800																																
グラフ	挿入なし	20																																	
	凡例なし	5																																	
	グラフの種類の間違い 【正】 	【誤】 	5																																
データ範囲の間違い 【正】 	【誤】 	5																																	
データの間違い（データ基は合っている） 【正】 	【誤】 	5																																	

減点基準	詳細および採点例	減点
グラフ	<p>%表示が問題文どおりではない場合</p> <p><b>【正】</b></p>  <p><b>【誤】</b></p> 	2
図形	<p>挿入なし</p> <p><b>【正】</b></p>  <p><b>【誤】</b></p> <p>図形挿入なし 10点 文字未入力4文字 8点</p> <hr/> <p>図形の種類の間違い</p> <p><b>【正】</b></p>  <p><b>【誤】</b></p>  <hr/> <p>図形の配置の間違い</p> <p><b>【正】</b></p> <p>行頭 中央揃え 行末</p>  <p><b>【誤】</b></p> <p>行頭 中央にない 行末</p>  <hr/> <p>図形の加工の間違い(線種、塗りつぶし、影、立体など)</p> <p><b>【正】</b></p> <p>塗りつぶし、影</p>  <p><b>【誤】</b></p> <p>すべて未処理</p>  <hr/> <p>図形内の文字の縦書き、横書きの間違い</p> <p><b>【正】</b></p> <p>縦書き</p>  <p><b>【誤】</b></p> <p>横書き</p> 	18 2 2 4 2
段組み	<p>処理なし</p> <p>段組み数の間違い</p> <p><b>【正】</b></p> <p>段組み(2段)にしなさい</p> <p>地球上 繰り返さ では自然 れていま の仕組み す。太陽 による水 のエネルギー の循環が ギー~</p> <p><b>【誤】</b></p> <p>3段になっている</p> <p>地球 水の循 太陽の 上では 環が線 エネル 自然の り返さ ギー~ 仕組み れてい による ます。</p>	10 5
その他	<p>余分処理について(1か所ごとに)</p> <p><b>【正】</b></p> <p>報告書(ゴシック)</p> <p><b>【誤】</b></p> <p>報告書 (ゴシック、斜体、中央揃え)</p> <p>表とグラフの位置関係が問題文どおりの配置ではない場合</p>	2 2